

中田地域で町総合防災訓練

9月4日、中田地域を対象に町の総合防災訓練が実施されました。
 想定した災害は、新庄盆地断層を震源とする震度6強の地震の発生。余震による建物倒壊などの二次災害が予想されるため、町内全31地区で避難訓練を行いました。
 その後、旧中田小学校跡地を主会場に各種訓練が行われました。

◆防災発表

◆今回の防災マップは各地区公民館内に掲示されています

中田地域5地区の代表者が地区で作成した防災マップを紹介。避難所や水利を確認し、災害発生時の地区内の課題を挙げました。いずれの地区も冬期間の避難対応を懸念事項として挙げていました。

町と地域の皆さんが情報を共有する良い機会となりました。



小蟬地区・・・災害が少なく、住民の災害意識が薄れている。備えを十分に。



杉沢地区・・・川沿いで山に囲まれているため、土砂等の水害が心配。



上中田地区・・・山際に位置し、大雨の際の土砂災害が懸念される。



下中田地区・・・高台にある旧中田小グラウンドを避難所指定してはどうか。



外沢地区・・・1人暮らし高齢者の避難が心配。補助できる人も少ない。

「自助」「共助」「公助」の意識を高めよう！
災害時の備えは大丈夫ですか？

◆応急処置訓練

AEDの使用方法や心臓マッサージの仕方などの講習・実演。



◆火災防備訓練

第6分団消防団員による一斉放水。



◆食料供給訓練

中田地域女性ボランティアによる非常食「アルファ化米」の供給。



◆初期消火訓練

地域の皆さんによる消火器を使用した実演。



「備えあれば 憂い無し」

金山町は災害の少ない地域ですが、だからこそいざという時にやるべきことを迅速かつ的確に対処できるような「備え」が大切です。

中田地域は、近年災害もなく、各地区や消防団を中心に予防活動も十分に行っていました。しかし最近、今まで予測していなかったような大規模な災害が全国各地で発生しています。「予測できなかった

たから、対策もしていなかった」では取り返しのつかない事態を招いてしまいます。この総合防災訓練が、中田地域の皆さんにとって、さらにワンランク上の防災意識を持つきっかけとなってほしいものです。

今年の防災訓練には、幅広い世代の皆さんからご参加いただきました。ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。来年度は、有屋地域での開催が予定されています。